



6月の園だより

令和5年6月1日
目黒区立中町保育園園長

日中は汗ばむほどの季節となり、子どもたちは園庭で元気に泥んこ遊びなどを楽しんでいます。

先月、4・5歳児クラスは大型バスに乗って砵公園へ遠足に行ってきました。4歳児クラスの子どもたちにとっては初めての体験ということで「保育園で、バスに乗るのは初めて」と嬉しそうに友達と座っていました。公園に到着すると、木立の爽快な緑の中を走りまわり、4・5歳児一緒に氷鬼をやったり、芝生の上に寝転んだり、木の実や草花で遊んだりしながら自然の中で、思い切り体を動かしていました。雨の心配もあったため早めのお弁当にすると、「待ちました」とばかりに準備をする子どもたちでした。とても嬉しそうに友達と見せ合い「おいしい」「これもったいないから最後に食べる」「やっぱりお弁当は最高」と満面の笑みで食べていました。園に戻ってくると「またバスに乗って遠足行きたいなあ」という声が聞かれるほど楽しい1日となりました。お忙しい中、お弁当の準備をしていただきありがとうございました。



各クラス、夏野菜の栽培活動が始まりました。卒園児が絵を描いてプレゼントしてくれたプランターに嬉しそうに苗を植えていました。これから生長を楽しみながら、収穫までみんなで力を合わせて育てていきます。作物を共に育て、共に楽しみ、共に食べることは、子どもたちの心や体の育ちにもつながります。今年も栄養士や調理員と一緒に工夫し、子どもたちにとって様々な食の体験ができるよう進めていきたいと思ひます。

行事予定

耳鼻科検診（3・4・5歳児）
環境教室（3・4・5歳児）
眼科検診（全園児）
歯科検診（全園児）

身体計測 避難訓練

クラス懇談会

もも組（0歳児）



<0・1・2歳児クラス 栽培の様子>

もも組、たんぽぽ組はトマトの苗、ちゅうりっぷ組はオクラの苗とイエローポップ（ポップコーン）の種を植えました。毎日「おおきくなーれ、おおきくなーれ」と願いを込めながら、保育士と一緒に水やりをしています。数日後、ちゅうりっぷ組の子どもたちが「はっぱがおおきくなってる」と、生長に気付き、喜ぶ姿が見られました。子どもたちの願いが叶い、夏にはたくさんの野菜が実を付けてくれることでしょう。栽培を通して、食への興味が増してくれると嬉しいです。

★もも組（0歳児）★

★たんぽぽ組（1歳児）★

★ちゅうりっぷ組（2歳児）★





<幼児クラス 栽培活動の様子>



ほし組（3歳児） 『 おおきくなーれ、おいしくなーれ 』

プランターに苗を植える前に、苗の観察をしました。「白い花が咲いてるよ」「ピーマンのにおいがする」と気付いた子どもが、嬉しそうに友達にも教えていました。保育士が苗をポットから出すと、ポットの中で根がびっしりと育っている様子に「わぁ」と歓声が上がりました。「なにこれ、もじゃもじゃ」「すごい」と根を観察してから土の中に植え、みんなで「おおきくなーれ、おいしくなーれ」と、おまじないをしました。苗を植え終わると「本に描いてあるかな」と、早速絵本や図鑑を広げ「これかな、ピーマン」「これに似てるね」と見ている子どももいました。部屋からよく見える場所にプランターを置くと「水やりしたい」とワクワクしていたので、グループ毎に水やりをすることにしました。大きく育つことを毎日楽しみにしています。



つき組（4歳児） 『 どんな野菜ができるかな 』

パプリカときゅうりの苗を植える時に図鑑を見ながら、「どの野菜だと思う？」と子どもたちに質問してみると「えー、どれかな、難しいな」「これじゃない？葉っぱが少し似てる気がするな」と正解を出そうと真剣に図鑑と苗を見比べていました。保育士が正解を発表すると、「パプリカってなんかピーマンに似てる」「ピーマンは緑だけど、違う色だね」「何色になるかな」とパプリカの生長を楽しみにしていました。もう1つの苗は、きゅうりだと知らせると「きゅうり、いつもお家で食べてるんだよ」「私もきゅうり、食べられるよ」と好きな野菜だと知り、今から収穫して食べることを楽しみに張り切っています。子どもたちと水やりなど夏野菜の栽培を通して、図鑑と見比べたりしながら生長の変化を一緒に楽しんでいきたいと思います。



おひさま組（5歳児） 『 田んぼ作り 』

米作りを前に、保育士から「お米はどんなところでできている？」という質問をしました。少し考えた後「わかった。田んぼだ」と言う子どもがいると「そうだ、田んぼだ」と他の子どもも同意し、米を作るためにまず、田んぼ作りから始めることになりました。これまで経験してきた土作りとは全く違い、土と水を混ぜ合わせて丁寧にこねていきます。下の方の土もしっかりかき混ぜるよう伝えると、肘まで泥につかりながら「固いところがある」「難しいね」と言いながらも時間をかけて頑張っていました。やがて土がうまく混ざってくると「トロトロになってきた！」と嬉しそうな表情になり、早く終わった子どもが「手伝うよ」と声をかけ協力しながら進めていました。田んぼができあがると「これでいいね」と満足そうな様子です。田んぼ作りを終えるといよいよ田植えです。米粒から発芽している苗を見て「豆苗みたい」と驚いている子どももいました。それぞれ苗を手にするると、保育士と一緒に田んぼに植え「やわらかい」「これでいい？」と言いながら恐る恐るやっていました。しかし段々慣れてくると「1人で大丈夫」と言い、苗同士の間隔に気をつけながら上手に植え、田植えが終わると「明日から水やりだ」と世話をすることを楽しみにしていました。様々な工程のある米作りですが、一つひとつの体験を大切にしながら米ができるまでの過程を知り、食べ物大切にしたいと思っています。

